

事業概要 【むつ市メタバース教育支援センター開設事業】

自治体名	青森県むつ市	人口	51,700人	事業費	5,723千円
事業概要	不登校児童生徒の大幅な増加により市で設置している支援センターの利用も急増し、運営がひっ迫している。また、当市の面積が広大であることから、市内中心部の支援センターへの利用が困難なケースがみられる。また、学校や相談機関とつながっていない児童生徒は半数を占めている状況である。このような状況からメタバース教育支援センターを開設し、オンラインを多様に活用した支援等をととして、当該児童生徒の多様な学びの場を保障する。				
具体サービス	【むつ市メタバース教育支援センター開設】 令和6年度は、 - メタバースプラットフォームの構築 - オンライン授業（週2回×2日） のサービスを提供した。この不登校支援の検証を踏まえ、令和7年度は、以下のサービスを拡充及び新規に提供する。 - 不登校児童生徒専用AIドリルの提供 学び直しができるAIドリル「navima」等を活用 - オンライン部活動等主体的な場の提供 週1回程度の定期的な交流の場を提供する。 - メタバースを活用したホームルーム活動 オンライン型ホームルーム活動の提供 - 担任サポートまたは生成AIによるキャリア支援 少人数学級でオンライン担任が学習・生活面をサポートする。 - オンライン授業の拡充及びアーカイブの提供 オンライン型フリースクールと提携した月55コマ程度のオンライン授業の提供による学びの支援 市教育支援センター ↔ 市内小・中学校 連携 情報共有 オンライン登校 登校のきっかけ・学校復帰 メタバース教育支援センター 過年度整備済み - メタバースプラットフォーム構築 - オンライン授業（週2日提供） 今年度整備予定（今回申請分） - オンライン部活動 - 不登校専用AIドリル - 学び直し - メタバースを活用したホームルーム活動等 - 担任サポート（少人数学級） - チャットコミュニケーション - 保護者面談 - クラス会議 - オンライン授業（週5日提供）+ オンデマンド授業				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①不登校専用AIドリル利用件数 ②メタバース授業利用件数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①サービスを利用した児童生徒の学校復帰等の人数 ②メタバースの児童生徒満足度				